
私の恋

陽歌

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私の恋

【Nコード】

N8322B

【作者名】

陽歌

【あらすじ】

愛海……『何でも一緒』の私たちだったけど、まさか好きな人も一緒なんて——私は凄くビックリしたよ。

第1話：失恋

私には、恋より友情――

私には、好きな人がいる。

加賀 竜也――親友、愛海の彼氏

愛海とは元々気が合うほうで、好きなものとかが凄く似てる。
その結果がコレだ――

別に親友の恋人を取るつもりは無いけど、やっぱりツライ。

それに……時々思うんだ。なんで加賀さんと付き合っているのは、
私じゃなくて愛海なんだろうって―― そんなこと言ったらイヤ
な子って思われるかも知れないけど……コレが私の本当のキモチな
んだ――

そんなコト思っていた時だった。

「ねえ、戸田さん!!」

加賀くんが話しかけてきた。

私は、心臓が飛び出そうなくらいビククリした。

「な、何？」

私は答えた。

「昨日の英語のノート取った？」

「うん、取ったよ。」

「オレさ、昨日学校休んじゃってノート取ってないんだ…写させて貰って良い？」

「……良いよ!!」

この時、少し期待してしまった。

——だって、私と加賀くんの席は決して近くないのだ。

それなのに、わざわざノートを借りに来たって事は、私に何か…特別な感情を抱いてるのかもしれない——そんな儚い希望を抱いてしまう私がココに居た。

『諦めよう』そう思うのに、あんな期待させるから諦められない。でも——私は、友情を大切に…したい。

そうだ、告白しよう。

何故か私は、そんな事を考えるようになった。

——親友の彼氏なのに…… 違う。親友の彼氏だからだ。

親友の彼だからこそ告白して、きっぱり振られる。そうすれば、加賀君へのこのキモチ…捨てられる気がした。

そして、運命の放課後…。

「戸田さん!!」

加賀君が来た。

「あ……あの、あのね……」

ヤバイ。物凄く緊張する。

まあ、それはそうだ。なんせ、人生初の告白なのだから——
しかも、フラれると分かっている……。

「あの、えっと……私、私ね、加賀君の事が好き……なの。」

しばらくの沈黙……そして、ついに加賀君の口が動いた。

「えっと、知ってると思うけどオレは、愛海と付き合ってた……それで、愛海が好きなんだ。だから、戸田さんとは付き合えない。」

「うん、ゴメンね。あ……りが……と。」

「本当に、有難う。」

そう言っただけで加賀君は行ってしまった。

私は、涙をこらえきれなくて——泣いてしまった。

やっぱり、スグには諦めきれないみたい……。

悲しくて、悲しくて……たくさん泣いた。

でも——新しい恋を出来そう……そんな気さえした。

告白した事で諦めもついたら、前より少しだけ……ほんの少しだけ強くなれた気がした。

たった、1年の恋。

今、終了しました。

これはこれで……ハッピーエンド——なのかな？

もしかしたら、スグそこに新しい恋が待っているかも知れない。

― 1 話・失恋 完 ―

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8322b/>

私の恋

2011年1月28日02時49分発行